

本日ここに、令和4年3月横芝光町議会定例会をお願い申し上げましたところ、議員各位におかれましては、御多忙の折にもかかわらず、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

本年度も残すところあと僅かとなりましたが、おかげさまをもちまして、計画いたしました諸事業は、おおむね順調に進捗しており、改めて議会をはじめ、町民の皆様方の御理解と御協力に深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、極寒の中の2月4日から、第24回冬季オリンピック北京大会が開催され、各種競技で熱戦が繰り広げられました。

日本選手団は18個のメダルを獲得し、2018年、ピョンチャン大会のメダル獲得数13個を上回り、冬季オリンピックでは過去最多のメダル数となり国民に夢と勇気を与えていただきました。

こうした中、日本国内では今年に入り、新型コロナウイルス感染症の感染が全国的に拡大しており、当町においても1月と2月の2か月間で新規感染者数が344人と急激に増加しております。町といたしましても感染拡大を防ぐため、町民の方々に1日でも早く追加（3回目）のワクチン接種ができるよう、町内医療機関に御協力をいただきワクチン接種に全力を挙げて取り組んでいるところでございますので、議員の皆様におかれましても特段の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、議会開会に当たり、令和4年度の施政方針を述べさせていただきます。

### 【予算案の概要】

はじめに、令和4年度当初予算案の概要について申し上げます。

まず、国の動向であります。新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しつつ、「成長と分配の好循環」による「新しい資本主義」の実現を図るため編成された、令和4年度国の一般会計予算案の総額は、過去最大の10兆5,964億円となりました。

国予算案には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予期せぬ状況の変化に備えコロナ予備費5兆円が措置されたほか、看護・保育等の処遇改善や、小学校高学年の「教科担任制」の推進、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた地方創生推進交付金（1,000億円）のデジタル重点

化、治水・地震対策など防災・減災、国土強靱化への重点化の推進などに係る経費が盛り込まれており、いずれも町の行財政運営に大きく影響するものでありますので、予算成立の動向を注視し、適確に対処してまいり所存であります。

このような状況のもと、新型コロナウイルス感染症対策と地方創生の推進の両立を進めるとともに、第2次総合計画に掲げる重点戦略や各分野の事業等を着実に進め、「横芝光の地域力」を最大限に高めることを重視して編成いたしました当町の新年度の予算規模は、一般会計が115億6,300万円、国民健康保険特別会計が27億1,900万円、後期高齢者医療特別会計が3億3,100万円、介護保険特別会計が26億9,700万円、農業集落排水事業特別会計が6,500万円、東陽食肉センター特別会計が1億9,300万円、病院事業会計が収益的収支では17億3,000万円、資本的収支では、収入が1億4,380万1千円、支出が1億7,920万7千円となりました。それぞれ本議会に提案させていただきましたが、病院事業会計を除く6会計の当初予算の総額は、175億6,800万円で、今年度当初予算と比較すると、率で0.5パーセント、金額で8,530万円の減額予算となりました。

それでは、次に主な事業について申し上げます。

### 【企画空港課】

はじめに、企画空港課関係であります。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金につきましては、令和2年度からこれまでに6億3,101万円が交付され、地域経済や住民生活を支援する事業を実施してまいりました。

過日、国の令和3年度補正予算（第1号）が成立し1億3,803万2千円を限度として追加交付されることとなりましたので、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止や地域経済支援を図りつつも、「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開に向けた各種事業を実施すべく、新年度一般会計当初予算案に9,775万8千円を計上し、本議会へ提案させていただいたところでございます。

残る4,027万4千円につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、社会情勢を見据えつつ、令和4年度での補正予算により対応してまいります。

次に、第2次横芝光町総合計画後期基本計画及び地域公共交通計画につ

きまして、本年度、議会をはじめ町民の皆様や関係団体の御協力をいただきながら策定作業を進めてまいりました。

1月28日の議会議員全員協議会でそれぞれの素案を説明させていただきながら御意見をいただき、2月15日をもってパブリックコメントが終了しましたので、今後、総合計画審議会及び地域公共交通会議を経て、本年度内に策定いたします。

令和4年度からは後期基本計画に基づき、引き続き町の将来像である「人・自然・文化が奏でる暮らし 夢広がる幸せ実感のまち 横芝光」の実現に向け、町民の皆様とともにまちづくりを進めてまいりますとともに、地域公共交通計画により町内公共交通機関の利便性向上を図ってまいります。

次に、横芝駅バリアフリー施設整備につきまして、平成27年度よりJR千葉支社に要望を続け、協議を重ねた結果、令和3年度5月補正予算にて町負担金を承認していただき、令和3年9月からエレベーター設置工事の着工となりました。

工事は順調に進捗しており、本年中には供用が開始される予定となっておりますので、令和4年度分負担金につきましても新年度一般会計当初予算案に計上させていただいたところでございます。

次に、成田国際空港周辺対策交付金につきましては、現計予算額を12億円としておりますが、今年度の総額について、成田国際空港株式会社からは昨年度の交付総額約7.1億円と同等額となる旨を伺っていること、また当町での今年度実施した事業のうち、当該交付金充当対象となる事業量が昨年度と同程度となることから、当町への交付額について昨年度同等額の約1.3億円と見込んでおります。そのため、本議会へ提案する今年度一般会計補正予算案は、1億円の増額を見込み1.3億円とし、新年度一般会計当初予算案でも1.3億円を計上いたしました。

この交付金は当町にとって貴重な財源であり、航空機騒音に係る環境対策の充実を図るとともに、地域振興に資する施策を実施することで、「騒音に負けないまちづくり」を目指して有効に活用してまいります。

次に、土地利用ビジョンの重点戦略に掲げた、横芝光インターチェンジ周辺における複合拠点の形成に向け、本年度は地形図と地番図を作成し、土地の権利状況を確認いたしました。それら作成した資料に基づき、来年度は産業団地としての可能性を更に高めるため、インターチェンジ周辺の土地利用計画や概算事業費など、基本計画を策定するための調査費を新年

度一般会計当初予算案に計上させていただきました。関連して2月28日の議会議員全員協議会で御説明いたしました横芝光インターチェンジ北側官有地に予定している高速バス停留所の整備につきまして、銚子駅と東京駅を結ぶ高速バスの運行が秋から民間交通事業者により計画されており、町民の利便性の向上や企業誘致の促進に大きな効果（インパクト）が期待できることから、バス停留所と利用者駐車場が一体化した「パークアンドバスライド」を町が整備するための工事費を新年度一般会計当初予算案に計上させていただきました。

### 【産業課】

続いて、産業課関係についてであります。観光振興につきましては、山武市、芝山町、横芝光町の1市2町で構成している「モンベルフレンドエリア九十九里連絡協議会」と成田国際空港株式会社が連携を図り、2か年計画で着手しましたサイクルツーリズム事業の構築を引き続き推進してまいります。当該事業を展開することで、空港南側エリア内の交流人口の拡大、観光振興、交通アクセスの連携、移住施策等、地域経済活性化の向上に大きな期待を寄せているところであります。

次に、農業行政関係につきましては、令和3年度の主食用米の作付面積は、全国で6万3千ヘクタール、千葉県で4千4百ヘクタール減少いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響等により需要も減少し、全国的には作付面積の減少が需要の減少に見合っておりません。米の需給バランス維持と米価の安定により、稲作経営の安定を図るため、引き続き飼料用米等の戦略作物による需給調整を推進・支援してまいります。

また、持続可能な農業の実現に向け、農業従事者の後継者不足や農家数の減少、耕作放棄地の増加など集落・地域が抱える問題を「人・農地プラン」による話し合いを活発化させ、農地中間管理事業の活用や基盤整備事業などを推進し、地域とともに問題解決を図り、地域農業の中心的経営体や新規就農者への支援等に努めてまいります。

次に、農道整備事業関係につきましては、令和3年度に農免道路全長6,243メートルのうち経年劣化が著しい箇所3,259メートルを調査し、損傷が著しい母子地先220メートルの舗装修繕工事に係る経費を新年度一般会計当初予算案に計上させていただきました。

また、あけぼの橋については、平成28年度に橋梁耐震性調査を実施した結果、支承部及び橋梁の補強が必要であると判明したため、平成30年

度に耐震化対策整備計画策定、令和2年度にあげぼの橋個別施設計画策定、令和3年度に橋梁耐震補強工事設計を行い、新年度一般会計当初予算案に耐震補強工事を実施するための経費を計上させていただきました。

### 【都市建設課】

続いて、都市建設課関係についてであります。都市計画事業につきましては、成田空港の機能強化に伴う定住者獲得を目指すため、利便性の高い地区を空港関連施設の就業者等、新規定住者のための居住地として整備するための調査を行います。

土地利用ビジョンにおいて、役場周辺や横芝駅周辺は居住利便性が高い状況にあり、特に役場周辺は横芝光インターチェンジを中心とし、複合拠点としての整備計画が進められております。

このため、空港関連施設の立地や就業者の増加が見込まれることから、役場周辺において、住宅地整備事業可能性調査業務を行うための経費を新年度一般会計当初予算案に計上させていただきました。

また、横芝駅などの市街地に近接する横芝小学校周辺においても、居住地整備として見込んでおります。現在、用途地域の指定はされておりましたが、今後、住居系の用途指定を行う予定であります。

一方、新たに用途指定を行う地域は排水系統が少なく大雨時には一部の排水施設に集中し滞水をおこすなど、今現在も大変苦慮しているところで、今後多くの居住地整備が期待される中、より排水負担が増加することが予想されるため、排水対策調査業務に係る経費を新年度一般会計当初予算案に計上させていただきました。

次に、横芝光町公開型GIS構築等業務委託ですが、町が保有する都市計画等の地図情報をWEB上で公開することにより、町民や事業者が来庁することなく必要な情報の確認を可能とすることで、窓口での対面による業務を削減することにより、デジタル化の推進と新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図ります。

次に、町道路事業についてであります。町道I-14号線道路改良事業につきましては、木戸地先長塚地区の県道横芝停車場白浜線東から町道I-22号線、通称スクールラインまでの間を現在工事中であります。新年度一般会計当初予算案では、そのスクールラインとの交差点の改良工事を計上させていただきました。当該交差点改良工事が完成しますと、清長大橋から東側全線が改良済みとなりまして、広域農道九十九里線から町

道Ⅰ－14号線の全線が開通となります。

次に、町道Ⅰ－8号線道路改良事業、横芝地先東町地区の主要地方道横芝上堺線から栗山橋を結ぶ路線についてですが、栗山橋に繋がるバイパス区間の用地確保に目処が立ちましたので、更なる事業進捗を図るため、新年度一般会計当初予算案に工事費を計上させていただきました。

次に、町道Ⅰ－10号線道路改良事業、宮川地先古屋地区の都市計画道路であります。地権者各位の御協力によりまして、事業費ベースで約8割の用地取得ができたことから、一部改良工事に着手すべく新年度一般会計当初予算案に工事費を計上したほか、引き続き用地費及び補償費も計上させていただきました。

また、町道Ⅰ－7号線於幾・寺方地先と町道Ⅰ－18号線宝米・市野原地先の道路改良事業も継続的な事業推進を図り、用地費及び補償費と買収区間の改良工事費を新年度一般会計当初予算案に計上させていただきました。

このほか、経年劣化による損傷等が進んでおります道路舗装や橋梁につきましても、長寿命化計画に基づき、費用対効果を鑑みた効率的な修繕工事費を新年度一般会計当初予算案に計上させていただきました。

### 【健康こども課】

続いて、健康こども課関係についてであります。「横芝光町健康増進計画及び自殺対策計画」につきまして、計画期間は平成30年度から令和9年度までの10年間とし、令和4年度に中間評価及び見直しを行うこととしていることから、町民の健康に関するアンケート調査を実施し、地域の健康課題、健康づくりの基本的な考え方と方策や調査結果等を踏まえた事業計画及び5年後の目標値の見直しを行います。また、保健福祉等の分野に関連する各種計画との整合性を図りながら、地域住民が自分らしく生き生きと暮らせる環境づくりを目指し、健康に関する周知啓発、疾病予防及び相談体制の強化を図ってまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの追加接種（3回目接種）につきましては、国から更なる前倒し接種の要請がありましたことから、円滑に実施できるよう、接種体制の構築に取り組んでおります。

町内医療機関で実施する個別接種を当初予定の3月から前倒しして1月31日から順次開始しており、町文化会館で実施する集団接種についても3月から前倒しして、2月18日及び25日に実施いたしました。3月以

降は土曜日又は日曜日を含めた毎週2日間程度を軸に接種日程を確保し、実施してまいります。

一方、5歳以上11歳以下の小児へのワクチン接種につきましては、ファイザー社製ワクチンによる小児への接種が予防接種法上の特例臨時接種に位置付けられ、関係政省令が2月21日に公布・施行されたことから、3月下旬の開始を目指し、諸準備を進めてまいります。

今後とも国からのワクチン供給状況を勘案しながら、着実に実施できる接種体制を確保してまいります。

### 【東陽食肉センター】

続いて、東陽食肉センター関係についてであります。本年1月末現在の、豚のと畜頭数は、昨年同時期と比較して5,706頭減の8万4,491頭、牛は、308頭増の3,201頭となりました。

事業収入については、昨年1月末と比較し、2,000万円程度増加しておりますが、光熱水費などの維持費や施設、設備に係る補修費など、維持管理経費においても増加している状況であり、依然として厳しい経営状況が続いております。

今後とも衛生的で安全な食肉を生産していくとともに、経費削減に努め、引き続き関係者と協力しながら努力してまいります。

### 【東陽病院】

最後に、東陽病院の運営状況について御説明申し上げます。

1月末現在の延べ患者数は、外来につきましては29,291人で昨年より1,457人増加しておりますが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により来院を控えている傾向が続いていることから、1日当たりの外来患者数は145人と昨年と比較して1.5人の微増となっております。入院につきましても、延べ患者数で18,525人、病床利用率は63.7パーセントで、昨年と比較しますと患者数で2,158人、利用率で7.4ポイント増加しております。令和元年度に実施した病床機能の転換により高い施設基準の取得ができたことから、医業収益全体としましては昨年度と比べ増収となる見込みです。

長引くコロナ禍により医療提供体制の充実強化が求められ、病院運営は厳しい状況が続いておりますが、職員一丸となり、安心して地域住民が受診できる病院を目指し、安定した収益の確保を図るとともに、近隣の中核

病院をはじめ開業医などの医療機関や福祉事業者等と連携を深め、地域医療構想及び地域包括ケアシステムの構築に向け、地域病院としての役割を担ってまいりたいと考えております。

以上、令和4年度における施策の一端を述べさせていただきましたが、職員一丸となり計画事業を効率的かつ効果的に推進してまいりますので、議員各位には、更なる御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。